

提供日 2016/11/17

タイトル グランシップ伝統普及プログラム～触れてみよう能楽師～

担当 公益財団法人静岡県文化財団 事業課

連絡先 TEL 054(203)5714

静岡県文化財団

記者提供資料

「グランシップ伝統芸能普及プログラム～触れてみよう能楽師～」  
**静岡大学教育学部の学生が音楽教育として能楽を学び、実践に生かします**  
**～県立文化施設と地域の大学との連携事業～**

## 1 要旨

公益財団法人静岡県文化財団・グランシップでは、平成23年度より「伝統芸能普及プログラム」を実施し、市町の文化施設や教育機関と連携して、能楽などの伝統芸能がもつ魅力や特徴などを多角的に紹介しています。今回は、静岡大学教育学部の3年生が音楽教育として一流の能楽師から能を学び、来年1月に中学校での授業実施までに繋がります。

## 2 概要

区分	内容
公演名	グランシップ伝統芸能普及プログラム ～触れてみよう能楽師～
日時	平成28年12月7日(水) 10:00～14:15
参加者	静岡大学教育学部音楽専攻3年生30名、留学生2名 他
会場	静岡大学 大学会館(静岡市駿河区大谷836)
タイムスケジュール	10:00～12:00 能楽の基礎、能「羽衣」の解説 12:45～14:15 模擬授業、実演、グループディスカッション、 附属島田中学校での授業に向けての課題、準備
講師	大倉源次郎(大倉流小鼓方十六世宗家)、坂井音隆(観世流シテ方)
本プログラムの目的・特徴	<p>グランシップで継続している能楽公演を単なる興行的公演で終わらせず、地域と連携したプログラムとして構成しています。また、各地で開催されているアウトリーチ事業は決まったものを様々な場所で同じように公演することが多く見られますが、本事業は各地域や機関の実情に合わせ、内容や出演者を個別に選定しています。能楽という芸術だけでなく、“能楽師”という演者・芸術家の人としての魅力にも触れることができます。</p> <p>日頃、洋楽中心に音楽を学ぶ学生に、能楽を分かりやすく解説し、能楽師による指導を体験してもらう事で邦楽の特徴や概念などを伝え、実体験として子どもたちに指導できる教員養成の機会とします。</p> <p><b>【備考】</b> 今回の受講生は、この講義をもとに来年1/18(水)に静岡大学教育学部附属島田中学校にて能楽の授業を実施します。文化施設であるグランシップと地域の大学、また関連する教育機関の連携によって行われる事業です。</p>
主催	公益財団法人静岡県文化財団

## 3 取材申込・お問い合わせ

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

指定管理者:(公財)静岡県文化財団 事業課 電話 054-203-5714 (担当:渡邊・法月)